

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [横浜市立永谷小学校] 担当教諭名 [吉川 麻衣子] (6年3組 28名)
 交流相手国 [ナイジェリア]
 海外学校名 [Famaks International Schools] 担当教諭名 [Chipo Marunda]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合	国際交流アートプロジェクト	30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	世界遺産と日本一
絵に込めたメッセージ	その国にある世界遺産や特徴的なものを知り、お互いの文化を大切にしよう



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
インターネットを通じて遠い国の相手ともコミュニケーションを図れることがわかった。英語を実際に使ってコミュニケーションすることで、英語を学ぶ必要性を感じられた。 英語を翻訳することに苦労していたが、英語が通じたときの喜び、また苦労してもあきらめずにやればできるということを感じられた。	相手国の情勢や先生の都合で、本来の要の部分である協働学習ができず、日本側でテーマなど一方的に決める形になってしまった。インターナショナルスクールだったので、そもそも地元の公立小学校の子よりもかなり恵まれている状態で、ナイジェリアの公立小学校の実態とは違ったかもしれない。 ナイジェリアは時差もあり、テレビ会議ができなかった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
「学校をひらく週間」(授業参観)のときに壁画を描く活動を公開し、クラスや学年の保護者に見せることができた。相手国から戻ってきた完成した壁画を朝会で公開し、学んだことを全校に発表した。また、職員玄関前に掲示した。	クラスの保護者に同業者がいて、「今度やってみたくらいから参加方法を教えてほしい」と問い合わせがあった。相手国からの自己紹介カードを翻訳したものを掲示していたら、「小学校でここまでできるのか」と言われた。掲示した絵を見て多数の先生や保護者から「すばらしいですね」と言われた。子どもたちもうれしそうだった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	総合でやってみたいことや発揮したい力、伸ばしたい力のアンケートをとる。	英語やインターネット、芸術分野に興味のある回答が得られた。	総合2
情報収集	夏休み	相手国ナイジェリアについて調べる（夏休みの課題として A4一枚程度の調べ学習）	その国の概要だけでなく、自分の興味のある分野について調べていた。言語や世界遺産、芸能人、スポーツなど	
テーマ検討	10月	自己紹介カードを作ったり、相手国からのカードを翻訳したりする。調べ学習を元に、絵のテーマにしたいことを絞る。	自分らしい、日本らしい自己紹介カードを作ろうと写真など工夫していた。共通点として世界遺産、そのほか日本らしいものを入れたがった。	総合15
制作	11月	下絵のデザインを8名ほど考えてきた子の中から、みんなで入れたいものを選び、決定。大元のデザインに選ばれた子は放課後に下絵を描きに来校し、授業時間にみんなで着色。	日光に修学旅行に行ったことや、歴史学習から、三猿や大仏などを入れることを決定し、また富士山やスカイツリーなど、日本らしくまた絵にしやすいものを選んでいった。	総合10
鑑賞	1月	届いた絵をみんなで鑑賞し、感想を交流する。相手国の先生にわからないことを質問した。	相手国の描いた絵で、わからないものについて質問があった。（メールで対応）	総合3

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	2	5・4・3・②・1	デザインを考えるにあたり日本らしさを考えさせたが時間があまりとれず、歴史の授業との関連はあったが、深いものではなかった。
異文化の理解	3	5・④・3・2・1	相手国の先生が内戦が激しいという理由でジンバブエに里帰りしてしまうという事実が、平和が当たり前でないという実感につながっていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	1	⑤・4・3・2・1	英和辞典の使い方を知り、AET の協力を仰ぎながら相手国のカードを翻訳する作業に熱心に取り組み、意味がわかるとうれしそうにしていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・4・③・2・1	調べ学習を夏休みの課題としたため、個人差があった。校内で朝会での発表は時間の都合上クラスの半分の子が代表として行い全員ではなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)		⑤・4・3・2・1	絵の得意な子、英語を習っている子、発表が得意な子、調べる力がある子、などさまざまな子のよさを活かした。
協働する力 (役割分担・協力)	4	⑤・4・3・2・1	翻訳は隣の席の子とペアで AET にも協力を仰いで行った。壁画制作時も色づくり、道具管理など自分の役割を見つけて行えた。
学習を追究する意欲		5・4・3・②・1	テレビ会議が時差で無理なら VTR を作って送りたいなど意欲はあったが相手国の先生が里帰りしてしまった後のことで、かなわなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・4・3・②・1	協働学習があまりできないまま急いで壁画を作ることになったので、正直テーマへの思いを高められなかったように思う。
作品を鑑賞する力		5・4・3・②・1	民族衣装など相手国の文化にさらに興味をもつきっかけとなったが、先生にメールで尋ねるにとどまりその後の展開にうまくつなげることができなかった。